

【施設状況】

グループ名称	安茂里公民館										
指定管理者名	安茂里地区住民自治協議会						法人番号	1700150074103			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課			副					
構成施設	5913	安茂里公民館									
	3320	安茂里公民館小市分室									
施設分類	01	企画型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	【本館】 会議室 1、学習室 1、実習室 1、集会室 2、図書室 1 【小市分室】 集会室 1										
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。										
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。										
主な実施事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人学校の開設</li> <li>・各種講座の実施</li> <li>・講演会</li> <li>・展示会の開催</li> <li>・図書等を備えその利用を図る</li> <li>・貸館事業</li> </ul>										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない</li> <li>・管理運営の一部において、市の指導が必要</li> </ul>
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協定、事業計画が全て実施されない</li> <li>・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要</li> <li>・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない</li> </ul>

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	安茂里地区住民自治協議会				当該指定管理者の指定回数	2 回		
指定期間	令和2年4月1日	～	令和7年3月31日	5年	当該指定管理者の管理運営開始日	平成29年4月1日		
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。							評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)						3	

		利用区分等	単位	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	対前年比	評価
施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)		利用者数	人	50,011	45,668	21,398	21,205	99%	3
		利用率	%	58.3	58.0	41.0	38.7	94%	
		分室利用者数	人	4,482	4,073	2,253	2,072	92%	
		分室利用率	%	43.3	36.6	27.8	27.2	98%	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
								#DIV/0!	
(特記事項) 【令和3年度】新型コロナウイルス「まん延防止等重点措置」適用のため、公民館(1月28日～3月6日)は休館とした。開館時も感染対策のため、教室の収容人員を制限したこと、高齢者等が利用を自粛したこと等により利用者が減少した。									
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安茂里公民館の利用許可に関する業務</li> <li>・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務</li> <li>・安茂里公民館の設備及び維持管理に関する業務</li> <li>・教育委員会が定める業務や受講料の收受に関する業務</li> <li>・安茂里公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務</li> <li>・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務</li> </ul>							
	自主事業	提案を求めている							
サービス維持・向上の取組み (広報等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館報 6回/年 発行。情報発信を行い公民館活動の広報に努めた。</li> <li>・講座の開催等は、館報で告知し、新規利用者の増加につなげた。公民館内の掲示板にポスターやチラシを設置し公民館利用者や支所への来庁者に読んでもらい、新規受講者の増加を図った。また、マスメディア(週刊長野、市民新聞)を活用し講座開催の掲載を行ない、広報に努めた。</li> </ul>								

3 利用者評価

		区分	内容	評価
利用者評価	利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	4
		(2) 調査、会議等の内容 ・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握に努めた。 ・貸館利用者には、点検票に公民館への連絡事項欄を設け、利用者ニーズを把握するとともに返却時等に聞き取りを実施した。		
	(3) 調査、会議等の結果 実施した一般講座 23講座(33回) 講座参加者数 668人 うち アンケート回答者数 529人 満足 88.1% やや満足 10.6% やや不満 1.1% 不満0.2%			
	利用者からの評価・苦情等	(1) 良好とする評価 「ブラ”アモリ”～ふるさと再発見」歩いて地域の魅力を再発見し、郷土愛を育む講座。大町街道という旧道について歩いて学び、地元とは言え知らないことばかりで奥の深さに驚いたと好評であった。 「夏休みキッズスクール」夏休み中の小学生対象のマジック講座とスイーツデコ講座。親子や友達同士で工夫しながら楽しめたの好評だった。 「アンチエイジング講座」マスクをしたままできるアイメイク講座。講師の話が面白く、パーソナルカラー診断がカラー選びの参考になると好評を得た。 暗く、入りずらかった図書室の改装をし、利用しやすくなったと好評であった。		
		(2) 苦情・改善等の要望事項 A.夏休みキッズスクールのマジック講座で内容がわからなかったという意見があった。 B.スリッパが脱げやすく階段の上り下りが大変という声がある。		
		《対応措置》 A.夏休みキッズスクールのマジック講座をなぞトレあもリーグに変更して行うことを決定。 B.スリッパは3年前に新しいものを購入し、必要に応じて新しいものに変えているが、今後脱げにくいものを探して変えていきたい。		

4 事業収支

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和3年度)				市の収支				評価		
	項目	年度計画額		収支実績額		項目	令和3年度決算			令和2年度決算(前年度)	
		金額	金額	項目	金額		金額	金額		項目	金額
	収入	利用料金	1,956,000	利用料金	1,844,139	歳入	使用料	28,010		使用料	64,000
	指定管理料	17,128,000	指定管理料	17,128,000		雑(納付金)	1,283,988	雑(納付金)	1,061,595		
	委託料	0	委託料			行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料			
	販売収入等	0	販売収入等			貸付料		貸付料			
	その他収入	24,000	その他収入	79,049		その他		その他			
	計	19,108,000	計	19,051,188		計	1,311,998	計	1,125,595		
支出	人件費	8,637,000	人件費	8,657,075	歳出	指定管理料	17,128,000	指定管理料	17,128,000		
	設備管理費	1,720,000	設備管理費	1,450,592		委託料		委託料			
	備品購入費	0	備品購入費	0		需用費	1,278,518	需用費	1,447,315		
	修繕費	398,000	修繕費	1,302,422		役務費		役務費			
	光熱水費	2,060,000	光熱水費	1,960,238		使用料・賃借料		使用料・賃借料			
	事業費	2,780,000	事業費	2,299,974		修繕費		修繕費			
	事務経費	2,542,000	事務経費	1,776,184		工事請負費		工事請負費	546,700		
	本社経費	0	本社経費	0		備品購入費		備品購入費			
	その他	971,000	その他	863,300		その他		その他			
	計	19,108,000	計	18,309,785		計	18,406,518	計	19,122,015		
自主事業	収入		収入								
	支出		支出								
	自主事業損益	0	自主事業損益	0							
損益		0		741,403	差引		-17,094,520		-17,996,420		
人件費比率【人件費(賃金等)／令和3年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									47.3%		
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由											

5 管理運営全般 ※すべて☑で、「3」、「4」、「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価	
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	☑	3	
	配置実績 (うち市内雇用職員数)			館長1人(1人)、主事1人(1人)、事務職員3人(3人)
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	☑	3	
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか			
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	☑	3	
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか			
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	☑	3	
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか			
セルフモニタリング等	2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	☑	3	
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか			
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	☑	3	

区分	確認内容	チェック欄	評価	
危機管理体制	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☑	3	
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか			
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか			
	個人情報保護 1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☑		
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか		☑
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☑		
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか			

7 地域連携

地域連携	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	評価
	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		4
	1 地域公民館の相談に対応し連携を図る。 2 職員は、地域行事に積極的に参加し、住民との連携を図る。 3 住民自治協議会の各部会と共催して事業を行い、地域全体との連携を図る。 4 小・中学校・保育園・児童センターと連携し、保護者・祖父母も含めた事業を行い、PTAとの連携を図る。 5 講座の講師は、地元から積極的に採用し、地元の人材を活用する。 6 地域・地元との連携を円滑に行うため、職員は可能な限り地元から採用する。		

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	3	12	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
<b>合計得点</b>			

評価理由

施設利用者は、21,205人で令和2年度21,398人と比較すると99.0%に減少しているが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策による休館と講座等の縮小によるもので、適正に運営されていた。  
 【利用者評価を4とした理由】  
 「親子で学ぶ講座をはじめ、文学や歴史を学ぶ講座、歌を歌う講座等を開催し受講者から高い評価を得ていること、図書館の改装をアイデアや工夫して行い、貸し出し冊数が倍増したことなど、施設の有効利用を図り利用者により好評を得ていることを評価した。  
 【地域連携を4とした理由】  
 地元企業との連携を図り、地元の企業を地域の方に知ってもらい講座を継続的に実施し、企業及び参加者から好評を得ていること、住民自治協議会の教育文化部会と連携し地域で悩みを持っている方を対象とした「お悩み個別相談会」を開催し喜ばれていることを評価した。

取組み・改善案等 (施設所管課)	前年度からの課題	改善状況	改善案等(改善されていない場合)
次年度の目標・取組み等 (施設所管課)	・新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。		

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

暗い、入りづらい、図書室があるのを知らないという声が多い為、図書室の改革を行いました。図書室の入口に図書室との大きな表示、歴代村長の額縁をキッズ用のかわいい額縁に変え、キッズリラックスコーナーを作り、その横に絵本コーナーと児童コーナーを設置、ぎっしり詰まっていた蔵書を廃棄し、ゆったりと見やすくし、作者表示を作り、職員のお薦め本を表示し、本屋大賞コーナーや新刊コーナーを作り、常に電灯をつけて利用者のサービス向上に務めた。

② 業務の効率化に対する取組み

職員が毎日出勤している訳ではないので、館長用、職員用の連絡ノートを作成し、その日の課題や利用者との対応内容を、翌日以降の担当者に申し送り、情報共有化を図る手段として活用した。  
些細な事でも事象を共有する事で、職員全員で物事に対応しているという意識を持った。  
お互いに対する感謝とグッドコミュニケーションを心掛け、業務の円滑化を進めた。

③ その他

(2) 指定管理者業務実施上の課題

住自協と公民館の垣根を取り去り、様々な情報を共有する事で互いの目標を一致させる事ができた。今後住自協関係者との更なるコミュニケーションを図っていく事が課題。

(3) 総合評価

評価基準

【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり  
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者  
自己総合評価

C

① 評価理由

催講座で新講座「プラアモリ」～ふるさと再発見を開催、テレビ局や新聞にも取り上げられ話題になりました。また、コロナ禍でもキレイになろうとマスクを着用した上でのアイメイク講座を開催、参加者全員が満足していただきました。  
成人学校は、昨年度を31名上回る102名の申込みがありました。  
図書室改革で、利用冊数は前年比206.5%の2,044冊になりました。

② 次年度以降の取組み

- 地域住民とのより身近な関係作り
  - ・地域公民館と連携を図り、地域住民の声を吸い上げる。
  - ・地域公民館長とともに学ぶ講座を実施。(講座運営のやり方、館報の作り方、公民館の歴史等)
  - ・「館報あもり」の内容充実を図り、地域の動きや情報を提供する。
- 住民自治協議会の教育文化部会・地域館長会とのより連携した取り組みを推進する。
  - ・各小中学校のコミュニティスクールと連携して、講座受講生のボランティア参加によるクラブ活動の支援・推進を図る。
  - ・お悩み個別相談会の周知と相談者の数と満足度の充実を図る。
- 公民館運営委員会と連携し、指定管理館としてあるべき公民館の姿の実現を図っていく。
  - ・地域住民の声を反映した、公民館業務、講座(休日・夜間講座を含む。)、講座構成の見直し、充実を図る。
- 利用者が、「指定管理になって良かった。」と感じられるよう、意見・要望の早期実現に努める。